

一歩

シンポジウムを振り返る
～開催10周年を記念して～

第6回
シンポジウム
みんなで考える障がい者も安心して暮らせる街づくり

豊かさ

IN 太田

日時 2月18日(水曜日)
時間 13:30～15:30 開場 13:00
場所: 宝泉行政センター 多目的ホール
群馬県太田市西野谷町38-2
参加費無料 定員280名

当日の内容

第一部 座談会 身体障がい・知的障がい・精神障がいの当事者やご家族、ひきこもりの会の方々とともに福祉サービス、生活面で感じる豊かさについて考える場。	第二部 太田市「福祉」の取り組み
---	---------------------

主催 太田市シンポジウム実行委員会
共催 太田市

問合せ シンポジウム実行委員会事務局
(社福)アルカディア 太田市地域活動支援センターおらっと
TEL 0276-20-2509 FAX 0276-20-2510

次第

13:00 開場
13:30 開始 開会挨拶
13:40 第一部 座談会
14:40 10分休憩
14:50 第二部 太田市「福祉」の取り組み
15:20 閉会挨拶
15:30 閉会

太田市シンポジウム実行委員会

社会福祉法人 福晃会	太田市手をつなぐ親の会
社会福祉法人 栗毛会	太田市身体障害者連合会
CIL上州project	太田市新田身体障害者団体
太田市聴覚障害者福祉協会	社会福祉法人 アルカディア
重症心身障がい児者父母の会	くれよんの会
太田精神障がい者を守る家族の会	ひまわりの会
太田蓮華の会	ひきこもりを考える会

はばたきHP

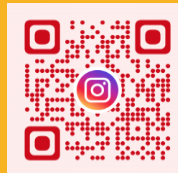
麦の家HP

GH事業所HP

麦の家
フリモ

麦の家
Instagram

GH
Instagram



太田市シンポジウム 10年の歴史を振り返る

みんなで考える
障がい者も安心して
暮らせる街づくりを
市民とともに考える



『共生社会の実現』に向けて、当事者の生の意見を聞き、暮らしていくことの楽しさ・辛さ・思いを知り、学び、伝えてもらう場を作っていこう！！という想いがスタートとなり、平成27年11月26日に行った実行委員会の打ち合わせから太田市シンポジウムの歴史が始まった。

協賛団体・後援団体もシンポジウムを重ねるごとに増えていき、障がい分野での垣根を超えた繋がりが、今のシンポジウムを支える大きな幹となっているのではないだろうか。

10年という節目を機に、その歴史を振り返る。

(年度)

2016

第1回

『障がい者が安心して暮らせる街
づくりを市民とともに考える』

2016年7月24日(日)

場所：宝泉行政センター

共催：太田市

各障がい分野毎ではなく、太田市で3障がいを対象とした初のシンポジウムの開催。

第1部で知的障がい者・身体障がい者・精神障がい者の当事者の方々やピアサポーターが登壇し、自身のこれまでの生活を語る。

第2部では座談会を開催し、当事者の方々や施設職員のみならず、ご来場していただいた方々にもご参加いただき、様々な意見交換が行われた。

2017

第2回

障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える
～障がいは、他人事ではない～

2017年11月26日(日)

場所：太田市立太田高等学校 大ホール

後援：太田市

コーディネーター：東京福祉大学准教授 三野氏をお招きし、シンポジスト4名との座談会。初めて参加者に【感謝をつぶやく・ささやく・叫ぶ】という感謝の表現をしていただく場となった。

イムス太田中央総合病院の看護師の方々による、健康チェック・健康測定も初めての試み。

2018

第3回

障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える
～こころの豊かさって何?～

2018年11月18日(日)

場所：宝泉行政センター

後援：太田市

協力医療機関：イムス太田中央病院

司会：浅見氏(土曜学校、群馬大学昭和健康支援室、産業医など)による、身体障がい・知的障がい・精神障がいを抱えている当事者の方の生活を伺う。生活していく上でのこころの豊かさについて語り合った。

今回は【感謝をつぶやく・ささやく・叫ぶ】から、【気持ちをささやく・つぶやく・さけぶ】に変わり、当日参加のご来場者の方々が続出し大盛況となった。

2019

第4回

障がい者が安心して暮らせる街づくりを市民とともに考える
～私も話したい・聴きたい～

2019年11月30日(土)

場所：宝泉行政センター

後援：太田市

協力医療機関：イムス太田中央病院

上州ろう太鼓 心響による演奏、手話通訳を初めて導入した。身体障がい・精神障がい・知的障がいを抱えている当事者の生活をお話し戴いた他、太田道草の会(ひきこもりの家族)のお話も。台風19号による被害に遭われた方への募金活動も行われた。当日に向けてFM太郎や様々な媒体で実行委員会による告知を行った。

2020

～

2023

コロナ禍への配慮、対応として対面形式でのシンポジウムから冊子形式でのシンポジウムとして実施となる。

【令和3年度 冊子】

みんなで考える障がい者も安心して暮らせる街づくり
～私の生活とコロナ～

(当事者インタビュー・団体紹介・腰痛予防体操)

【令和4年度 冊子】

みんなで考える障がい者も安心して暮らせる街づくり
～人と人とのつながり～

(当事者インタビュー・実行委員団体記事・団体紹介
腰痛予防体操)

2024

第5回

みんなで考える障がい者も安心して暮らせる街づくり
～もっと暮らしやすくするためにin OTA～

2024年2月25日(火)

場所：宝泉行政センター

後援：太田市

5年ぶりに対面形式でのシンポジウム開催となる。コロナ禍を経て、生活面では大きな変化があった。第1部では、シンポジストから『安心』な生活を焦点としたシンポジウムが行われ、第2部では太田市「福祉」の取り組みとして『太田市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の関連機関の紹介と説明がされる。

第6回

みんなで考える障がい者も安心して暮らせる街づくり

～豊かさ in OTA～

2026年2月18日(水)

場所：宝泉行政センター

共催：太田市

心の豊かさ、物や生活の豊かさと、様々な場面で豊かさを感じることもある。豊かさを感じていることが、感謝の気持ちに繋がっていくのではないかという思いから、今回のシンポジウムは『豊かさ』がテーマとなる。1部は座談会形式で『豊かさ』について当事者・家族が中心となって語り、考える場となった。2部は太田市『福祉』の取り組み。

【福祉の取り組み】

- ①障がいを理由にした差別の解消、障がいの理解・促進について
 - ②太田市障がい者相談支援センターと、障がい者支援協議会について
 - ③太田市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の取り組みについて
 - ④心のサポーター養成事業の取り組み予定について
- 上記、一部資料を基に説明がされる。

【シンポジウムを終えて】

太田市シンポジウム実行委員であり、座談会にもご登壇いただいた『太田道草の会 ひきこもりを考える会』の飯田様に第6回シンポジウムについての思いについて語っていただきました。

○シンポジウムへの思い

シンポジウムを迎える前段階として、アルカディアさんの取り組みに感謝です。障がいを持っていてもいなくても、暮らしやすい地域を耕すということに主体的に関わることができるのは嬉しかったです。ひきこもりに関しても、ないことにしないで誰にでもありうることだから、皆で考えようという場にシンポジウムはなります。

今回のシンポジウムを終えて思ったこと。シンポジストが当日いきなり会って話をするのは皆さん障がいを持っている（あるいは家族）方ということも配慮し、事前に顔合わせなどもして人柄を配慮できたら、私ももっと共感やフォローができたかな？と思っているところです。

それと、ご来場いただく方のことも考えます。前回よりも来ているか、減ってしまっているか。広報活動でもまだやれることがあったかな？会場の皆さんから質問の時間をとり内容を深めても良かったのでは？などです。来場者の皆さまに何かを得て、感じて帰っていただきたいという思いから色々と考えています。一年に1度、光の当たらないところに光をあてて、皆で街づくりを考えるシンポジウムは、これからも続けてもらいたいです。

記：太田道草の会 飯田 光子

編集後記

今回のシンポジウム座談会にて『人の豊かさ』について語り合う場面があり、登壇者から「相談したい時に誰かの顔が浮かぶことが豊かさだと感じる。」とあった。誰かに相談する、出来る環境が当たり前でないこともある。そもそも相談先があることを知らない方もいるかもしれない。太田市シンポジウムで掲げている『共生社会の実現』として、誰でも身近に頼れる人、場所があることも含めて発信し続けていくことが重要だと改めて感じた。

太田道草の会 ひきこもりを考える会 飯田様、記事提供いただき誠に有難うございました。